



興東地域学校規模適正化検討協議会ニュース

平成 26 年度 第 2 号

平成 27 年 1 月

教育政策課

平成 26 年度第 2 回興東地域学校規模適正化検討協議会が 1 月 13 日(火)に開催されました。

統合小学校の校名、校章、校歌について

興東中学校と柳生中学校との統合校の校名について、12 月 16 日、28 日、本年 1 月 9 日と 3 回にわたる両地域の代表者（興東地域から須蒲会長、西窪会長、田畠会長の 3 自治連合会長、柳生地域から、荻田会長、福西副会長、大西副会長）による協議の合意として、『興東館柳生中学校』という名称になりました。協議の概要について、次のとおりです。

この統合は、興東地域にとっては地域内の移転にとどまるが、柳生地域においては、地区から中学校がなくなることになる。その上、名前もなくなってしまうのは寂しいという思いが住民には強い。ぜひ「柳生」という名称を残してほしいという意見が出されました。

興東地域は、今に至るまで、各地域にあった小、中学校が統合されてきた経緯があり、地域名を学校の名称とはせず、東部を興すという意が込められた「興東」という名称となった。このため「興東」という名称に思いは強いが、新しい校名や並立させた名称もいいのではないかという意見が出されました。

校名を検討する期間を延長するために、「仮称」として一旦「興東中学校」で統合し、その後、校名を変更する手続きを行っていくという案も考えられましたが、子どもたちにとって、統合後に校名が変わることや、先行きの不安を抱かせることになるので、両地域ともに選択肢としては適切でないと考えられました。

具体的には、「興東」や「柳生」の何れかのみを名称とすることについては、地域の合意を得難いことから、新しい校名案として「奈良東部」「奈良東」、所在地から「大柳生」、並立した「興東柳生」、「柳生興東」等が出されましたが、単純な並立は工夫がないという意見もありました。柳生地域から、どちらが先でも良いので、両方を残したほうが良い。柳生としては地域への説明も成り立つ。逆に新しい名前のほうが難しいという意見に、興東地域からも、皆が納得する説明も必要となるので、並立はこのことを勘案すると理解できると表明されました。

並立する名称に、学び舎という意の込めた「館」を入れてはどうかという案により、東部を興すという意をもつ興東に館を付し、柳生地域と興東地域との統合により、広域な校区から 2 校の生徒が集う学校として、ともに学ぶ学び舎を創造する意から「興東館柳生中学校」を統合校の校名とすることで、両地域が合意されました。

また、校章、校歌（歌詞）については生徒や地域住民に公募し、校歌（作曲）は、専門家をお願いをする形で製作することになりました。

このことについて須蒲会長から報告され、事務局から経緯を説明させていただき、協議会として了承されました。また、この校名は両地域からいただいた案となりますので、この意向を実現することができるよう、両地域から「要望書」を添えていただくことになりました。

その他の統合再編に係る事項の進捗状況について

○興東中学校と柳生中学校との交流について

第1回交流学习…昨年11月12日に興東中学校の1・2年生が柳生中学校へ行き、1年生は数学科、2年生は外国語科の合同授業をした後、体育館で1・2年生が合同でフットサルを行いました。

第2回交流学习…柳生中学校の1・2年生が来て、一緒に給食を食べ、1年生が理科、2年生が社会科の合同授業をした後、合同で音楽科の授業を行う予定です。

○PTA組織の運営に関すること

1月6日(火)に両校のPTA役員の皆様に、興東中学校にお集まりいただき、統合中学校のPTA役員の人数や役割、会計等について協議していただきました。それぞれご意見を出していただき、役員構成等について、ほぼ1本化を図ることができました。



第3回学校規模適正化検討協議会の開催日時については、改めて後日お知らせをさせていただきます。

お問い合わせ先
奈良市教育委員会事務局教育政策課
TEL 34-5386